

4 目的からみた人の動き

1. 目的別の代表交通手段構成の推移

●平日トリップにおける代表交通手段構成を目的別にみると、出勤目的では、鉄道の割合が約6割と最も多くなっています。平成2年から平成22年にかけて、自動車の割合が減少する一方で、自転車の割合は増加傾向が続いています。

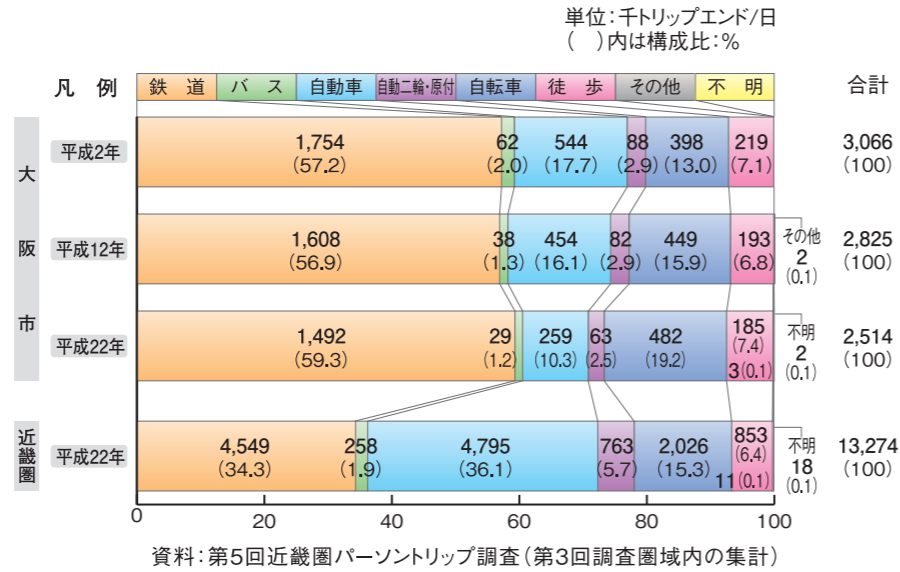


図23 出勤目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

●登校目的では、平成2年から平成22年にかけて大きな変化はみられず、鉄道が約3割、自転車が約1割、徒歩が約5割の構成となっています。

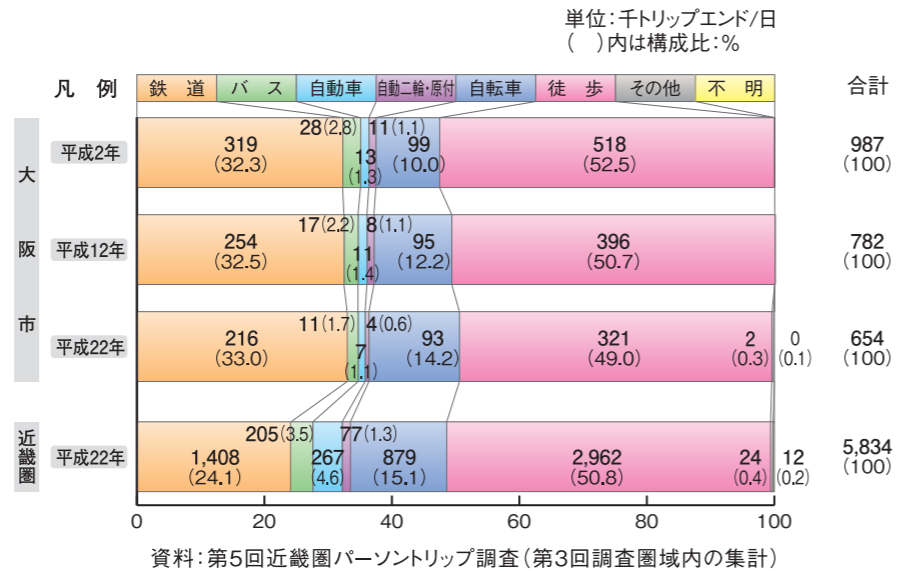


図24 登校目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

●自由目的では、平成2年から平成22年にかけて大きな変化はみられず、鉄道が約2割、自動車が約1割、自転車が約3割の構成となっています。

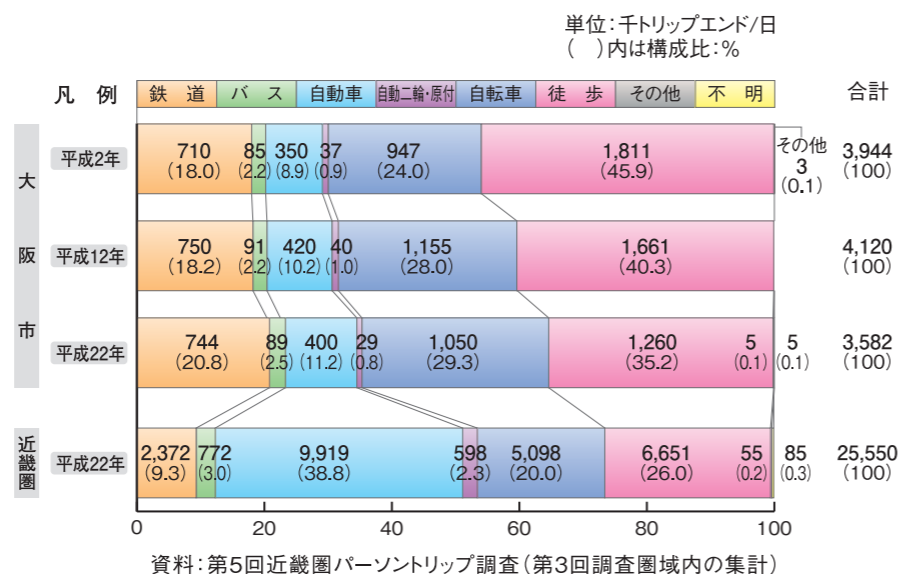


図25 自由目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

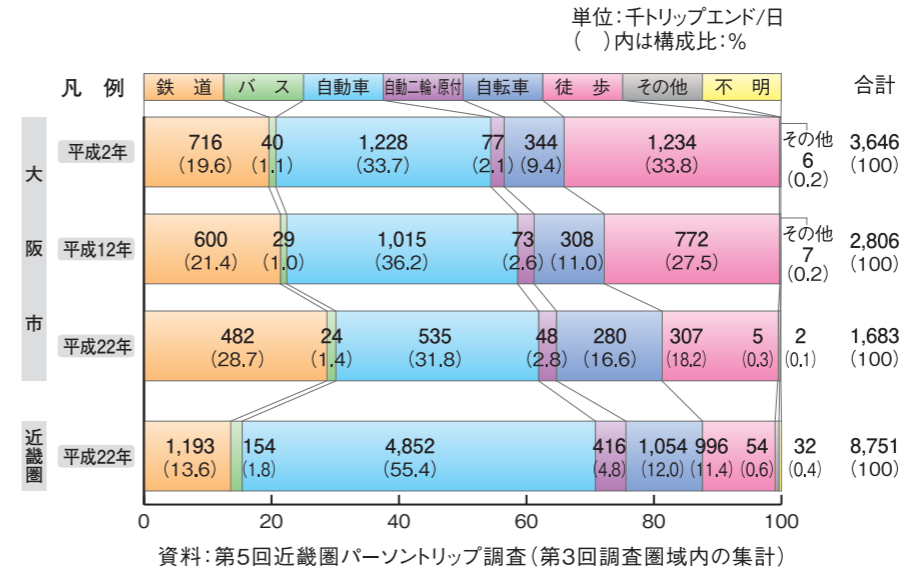


図26 業務目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

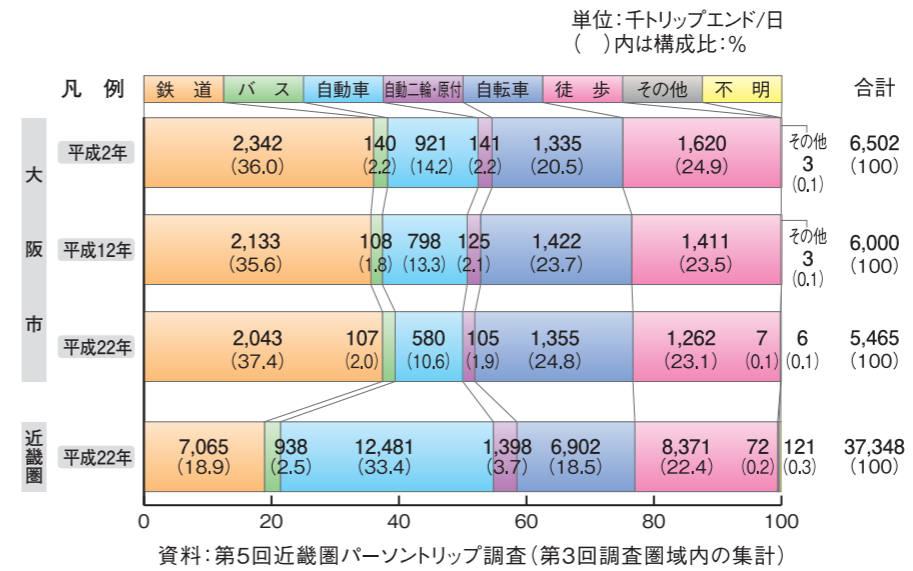


図27 帰宅目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

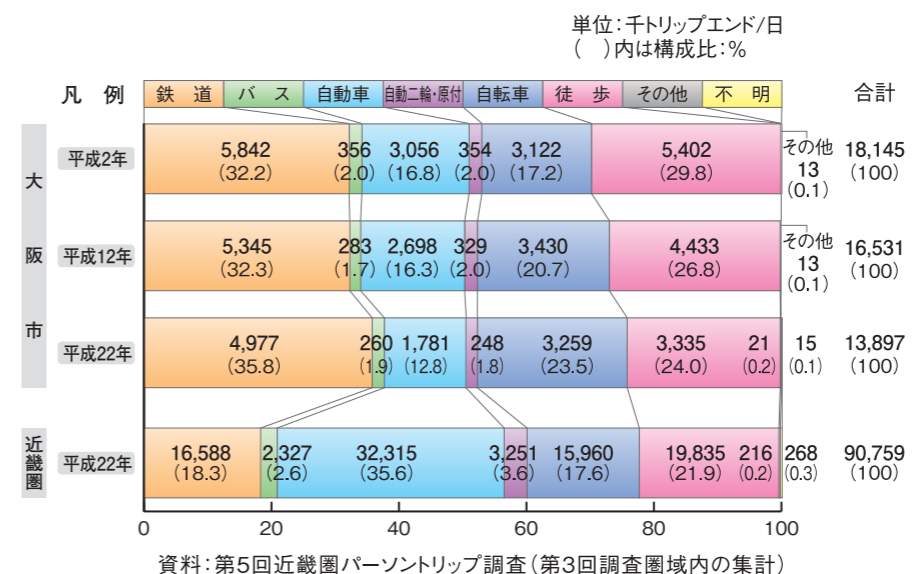


図28 全目的における代表交通手段構成比の推移(平成2年～平成22年)

●業務目的では、平成12年から平成22年にかけて、自動車の割合が約4ポイント減少する一方で、鉄道の割合は約7ポイント増加しています。
●また、自転車の割合も約6ポイント増加しています。

●帰宅目的では、平成2年から平成22年にかけて大きな変化はみられませんが、全体的な自動車利用の減少を受け、自動車の割合が約4ポイント減少しています。

●平日トリップにおける代表交通手段構成をみると、平成2年から平成22年にかけて、自動車の減少傾向が続いており、平成22年では約1割となっています。
●徒歩についても同様に減少傾向が続いています。